



右◇ガレージ シンメトリーな木製扉が美しいガレージ廻りは、アーチ状の石壁の模様か邸宅に活気をもたらします。
 左上◇キッチン 壁面に掛けられたカラフルな調理用具が、遊び心溢れる楽しいキッチン作り役立っています。
 左上◇ダイニング ダイニングからキッチン、ヌックまでを見渡せる見晴らしは、とても開放的でコミュニケーションが強まり、ご家族の絆がさらに深まるように設定されています。

祖父の代から受け継いだ土地と財を守り、乱世・バブルの世を渡り歩いてきた。「風水などとてもない!」と考えていた自分に大きな変化と挑戦のときがやってくる……。家族の健康を護り育むことを探求した果てに、古来から伝わる「教え」と「技法」が現代科学をも包含し、大河のごとく横たわっていた。自ら夢と理想を実現し、社会貢献への情熱を更に加速させる「住空間」づくりに挑み続ける。

風水住宅を訪ねて 東京都豊島区 E様邸

ご家族の健康と安心を育む家建てたい、との強い念いが引き寄せた「ご縁」と「科学」に護られて、夢と理想の住処を創り上げる。

Q1 「風水住宅」に出会ったきっかけとは、何だったのでしょうか……。

当初、家を新築する予定はまったくなかったのですが、松永先生とお会いして自宅を鑑定して頂いたときのお話があり、そのお話を聞いて、衝撃的な内容であったことから今回、新築をするきっかけとなりました……。

私の祖父も岐阜出身なのですが、戦前の殖産興業政策にも後押しされて、山林木材事業で成功しました。その後、「映画館を素晴らしい木材で」という興行主の方と出会い、その映画館の建設に取りかかったところ、その会社が不渡りを出してしまっただけで、そこで祖父は、その経営者の方から興行権を譲り受けて、自分で映画館をつくり映画興行などの事業を始めました。

その挑戦は大きく実を結び、戦前戦後を通じて個人資本の興行者としては、最大の規模と位置を占めるまでの成功を遂げていきました……。

私が大学時代に祖父に続き、父が亡くなりました。その結果、かなりの土地と株式などの財産が後に遺り、莫大な相続税と親族間では会社の経営権を巡る争いが起きました。私は母と相続対策の会社を新たに興し、その役員に就任しながらも父が生前、配想にしていた某大手映画会社の社長にお願いをして、就職試験を受け入社しました。こうして経営者とサラリーマンの二股の生活は、その後、7年もの間、続くことになりました。10数年かかりましたが、相続の問題もすべて解決し、私もいよいよ独立独立歩の事業家として、あらゆる問題で自分自身の責任と判断で決めることができる立場となるとき、ふと感じ始めたことがありました……。

バブルの時代にも、どこかに直観的な感覚があり、銀行からの再三再四の勧誘にもかかわらず借り入れもせず、地道に駐車場ビジネスを続けてきました。しかし祖父も手をつけずに遺してくれた都会の等地をそろそろ有効利用する時期がきたのではないかと……。

この街に役立つ建物を創ることが「先祖供養」になり、また地元の人たちの恩返しになるのではないかの思いから、様々な勉強会や研究会などにも積極的に出席し、「健康」に関わる事業に着目していた折に、「建築医学」との運命的な出会いがありました。

Q2 「風水住宅」を実際に造られるまでには、どのような変化や体験がありましたか……。

「建築医学」の講演会が終わり懇親会パーティー会場に行つたときに松永先生に手紙を書き、直接、手渡す機会に恵まれました。そこで直談判をすると「あなたの不動産を鑑定に伺いましょう」と言ってくださり、その土地を親に来てくださいました。「健康に関する事業を始めるのが良い、その上で鑑定後に言われ、正直びっくりしました。その後、その足で自宅を鑑定に行つた結果、この家については、とても厳しい判断を言い渡されました。」

「この家はジメジメして冷えて寒いです。このままでは病気になるですよ。それまで「風水なんてとんでもない!」となつたくらい信じてもいなかったのですが、ちょうど住み始めて3年経つた頃だったので、子供がICUに緊急入院、他の子ども病気で入院したり、妻の体調もすぐれず困つておりました。私も体調が悪く、病院や人間ドックなどを幾つも回り検査をするのですが、診察の結果はいつも何とでもありません、と言われるだけの不安な生活が続いていました。

松永先生の吸い込まれるような瞳の美しさをその時に感じて、先生の人間性と優しいお人柄に一目で感心した私は、それから食い入るように先生の著書を読み始めました。その本の中に書かれていた事柄で私が無意識の内に選択していたことが「風水」的には良いところや正しいことだたことを知って、余計にこの世界に興味以上のものを覚えていったのではないかと思います。

実は、この家はとても愛着と想い出が詰まった家でした。妻と二人で借家住まいをしながら探した理想の土地で、そのうえ憧れの地域環境に建てていたもので、借金をして購入したのですが「買え」というより、買わせて頂いたと思つていたので、余計にこの世界に興味以上のものを覚えていったのではないかと思います。

松永先生からも「まずは自分たちの家が先です。その次に事業を考えましょう」と聞き、まったく迷いがなくなりました。すると面白いように、家の近所で娘の幼稚園のすぐ裏手に仮住まいをするマンションが見つかりました。それ以外にも次々と奇跡とも思えるようなことが起こり始めたのです。家を大きく造つて困つていた黒松を突然、持ち主が切つてくれたのです……。

右◇寝室 主寝室専用のバルコニー越しに眺められる樹木の緑は、静かに響かしていることを忘れさせてくれるほど豊かな情景を醸し出しています。
 中◇ベンチ 緑豊かな窓辺に設置されたベンチは、鮮やかなオレンジ色の張地や美しい花柄のクッションが楽しさを演出してくれます。
 左◇照明 まるで宝石をちりばめたような美しさをもつ照明から放たれる「光」と「陰」は、脳に心地よい刺激をもたらします。

風水インタビュー FENG-SHUI Interview

Q3 「風水住宅」を建てられてから、どのような変化や周りからの反応がありましたか……。

実は、家を建てると決めてから、そして今も、まだ奇跡が続いているのです……。

家を新築することに決まってから、なかなか設計図やデザイン案が出てこなかったのですが、結局、遅れたことでサブプライム問題の影響もあり融資の金利が低くなった。また、以前から欲しいと思っていた土地の購入話が舞い込んだりと思慮なことが次々と起り続けています。

色彩や波動、脳科学などの最新の科学的なデータや知見を駆使した「建築医学」を知ったことで、今まで目も向けなかった「風水」という「古来からの「教え」や「技法」「秘法」なども深く触れることができて、私や私の周りの環境や何かが大きく変わっていったからだと思えます。

最初に設計図を見たときの衝撃と感動を今も忘れることができません。「家族を育んで護つてくれる家」をお願いしたのですが、すべてが木造りのうえ、埋炭で土地の地磁気を整え、ダイアトームスを壁、天井に張り、嫌な臭気を吸着させ、活性水を作る設備も整備し、万全の構えと準備が施されました。

その結果は、とても良いものでした。住み始めた直後から、家族の健康状態がどんどん良くなっていき、今は全員が健康です。こぶる元気な状態になりました。

この家に住んで、すぐに気がついたのは、これまで住んできた家々の経験では、どこかには陰気な感じがする場所があったのですが、この家ではそれがまったくありません。とにかく、家の中に気が減入る場所が、眠れるようになり、私もお家内でも熟睡することができるようになりました。

また書斎で仕事をすると、ほかと比べると、家にいる時間が以前に比べて格段に増え、家族と一緒にいることができるようになり、毎日、本などに幸せを感じています。「人間、どう生き、どう死ぬか……」。松永先生の教えをもっと理解し、これからは社会貢献ができる事業を創り上げていくことが次の夢です。

